



モニター通信



モニター通信を市ウェブサイトに掲載しております。ページID検索で「1017849」と検索してください。

ごみ減量親子モニターを実施しました！

市内の小学生とその保護者を対象に、ごみと資源に関する講義や工場見学を通じてごみの減量やリサイクルについて学んでいただきました！

テーマ ① ガラス 7月31日(月)実施 ② 紙 8月4日(金)実施

①ガラスの講座



ごみと資源の学習



スノードーム工作



ガラスの工場見学



手作りスノードーム

【裏面もご覧ください】

②紙の講座



ごみと資源の学習



はがき作り



紙の工場見学



手作りはがき

親子モニターにご参加いただいた小学生の皆さんのレポートを市の施設で掲示します。
〈掲示物〉 ガラスについてのレポート、紙についてのレポート

①中央図書館

期 間：令和5年12月6日（水）～13日（水）
※一宮市立中央図書館の開館時間に準ずる
場 所：一宮市中央図書館（栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル『i-ビル』）
5階児童図書エリア（図書館内専用エレベーター北側）



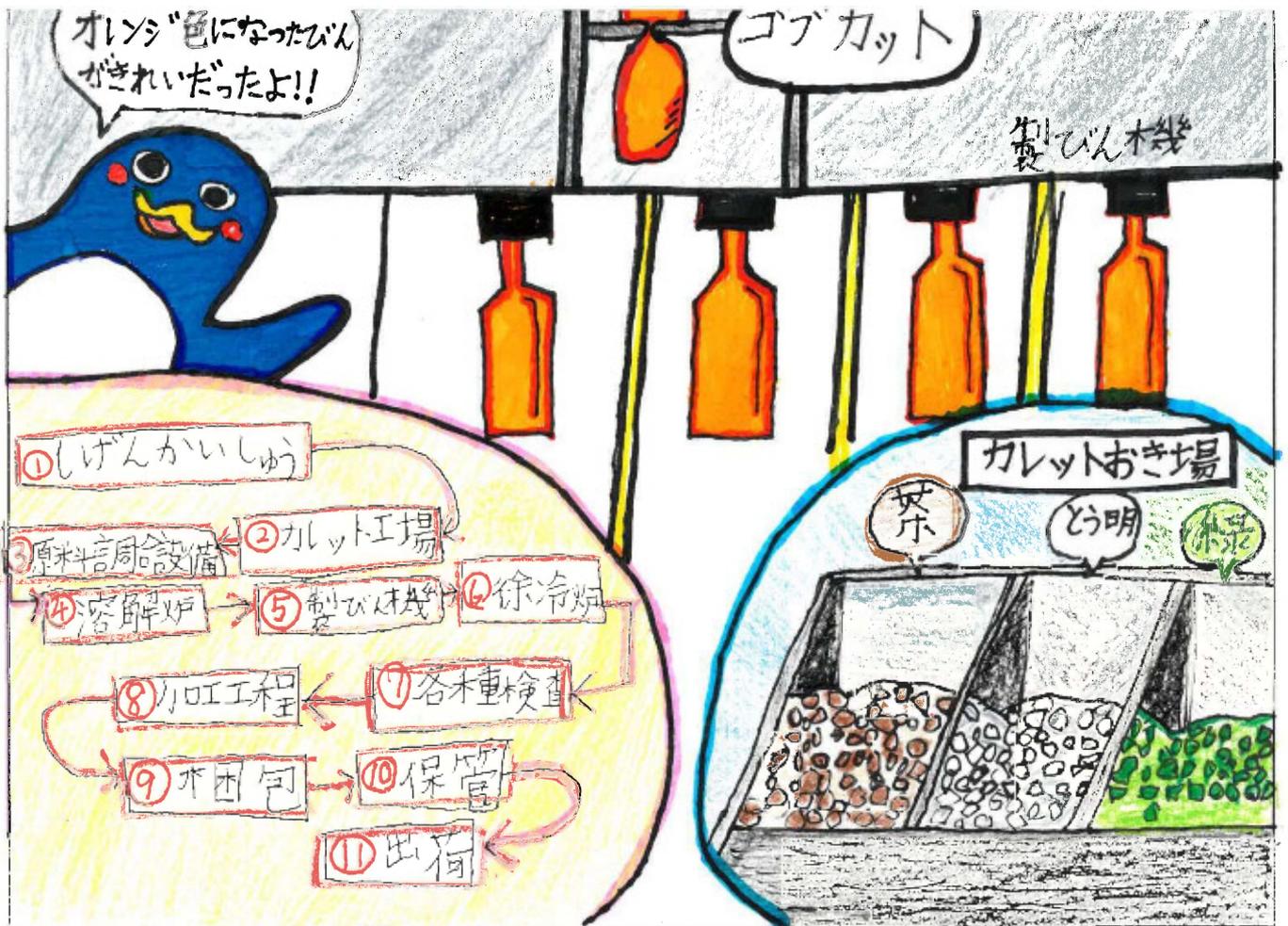
②エコハウス138

期 間：1月11日（木）～19日（木）
※エコハウス138の開館時間に準ずる
場 所：エコハウス138（奥町字八瀬割40番地1）
2階エコプラザ壁面



※市のウェブサイトにて参加児童のレポートを掲載しています。
ページID検索で「1057176」、「1057325」と検索してください

お問合せ先：環境センター 一宮市廃棄物対策課 電話0586-45-5374



令和5年7月31日(月) ガラスの講座

大和東小学校 四年生 名前: 瀧澤 羽真

「親子ゴミ減量体馬学習ツアー」に参加して、ゴミを減らした多

は次資源に活用することがわかりました。工場見学は、岩倉

市にある「石塚硝子」でバンテリンドーム約1.5倍の大きな会社で

した。この工場では、日に作れるガラスびんは約15万本です。

ガラスびんの原料の約95%はカレットです。カレットは色が黒、緑、

とう明があります。ヘルメットと軍手をして工場の中へ入る

と、大きな機械がたくさんありました。ようかいの温度は500度で

カレットを溶かします。全自動製びん機は、とけたガラスがゴブとよ

ばれるかたまりになってオレンジ色のあついがラスびんが次へとならな

出まきました。工場の中は暗度であつて音も大きくて耳をさげると見

学しました。ヤミした後、機械が自動で検査したあと、人の目で、

だいたいようひかえます。そして完成です。ガラスびんは

リサイクルした後、何回もびんに、赤変わることを知

れてよかったです。工作はウエキびんを使ってスライドーム

を作ったのがいいきねんになったので、だいたいにしたいです。

びんからびんへリサイクル



1 キャップを取る
 キャップが付いたままだと、リサイクルの邪魔になります。
 ※びんの口に付いている中栓は、無理に取らないで、そのまま出してください。

2 中をサッとゆすぐ
 中身が残っていると不衛生。ゆすぐと、リサイクルしやすくなります。
 ※ラベルは、剥がさなくても結構です。

3 空きびん以外のものを混ぜない
 排出時に空きびん以外のものが見えると、リサイクルに大きな支障をきたしたり、新しく作るガラスびんの強度や品質に、大きく影響します。

無色・黒色・茶色・その他に色分けして指定が2入

令和5年7月31日(月) ガラスの講座

千秋 小学校 4年生 名前…青月 実央

私は、ごみ減量親子モニターにお母さんと参加して、最初にごみのごみを減らすためにスノードームを作りました。想いがより簡単で、楽しかったです。

私はスノードームを作りましたが、小物入れなど、いろいろなものにリサイクルするのいいと思います。

次は、びんのリサイクルのお話を聞きました。話によると、びんはキャップを取ってから、中をサッと

ゆすぐ、空きびん以外のものを混ぜないで、ごみに出すのです。無色・黒色・茶色・その他に色分けしてごみに出したびんは、

カレット(びんの原料)にして、高温にかしたガラスを必要な分だけ切り取り新しいびんが作られます。

私たちは、岩倉にある石塚硝子さんの工場で、びんを作る工程を見学しました。工場の中は、とてもあつかったのですが、びんが

でき上がるまでを見るのができて、とても勉強になりました。ごみを入るすのに、私は自分ができることをやりたいと思いました。

回収された古紙があんな紙やこんな紙に!

集められた古紙は、種類によってリサイクルされる紙がちがうんだ。ちゃんとリサイクルするためには分別しておくことが大切!



リサイクル!

牛乳パックを使って
ハガキを作ったよ。
楽しかった一品

ピンちゃん



見学した工場では
雑誌「ジャンプ」の紙
も作られているんだって。

カンちゃん



令和5年8月4日(金) 紙の講座

向山小学校 五年生 名前…石田 苺佳

家から出るゴミには資源となるものもあり、き

ちんと分別することによってリサイクルできる事を勉

強しました。次資源となるものはリサイクルしないと、

ゴミの埋め立て地が足りなくなったり、森林や石油

資源のおだづかいとなるそうです。

リサイクル紙の工場見学もしました。私達

が使い終わった段ボールを水でドロドロにとかし

余分なゴミを取りのぞいた後、あみの上に流しこ

んで、かんそうさせて新たな紙を作っていました。

余分なゴミにはくぎやゴルフボール、石もあり、正しい

出し方をみんなでないといけないと思いました。

他には、牛乳パックを使ってハガキ作りをしました。

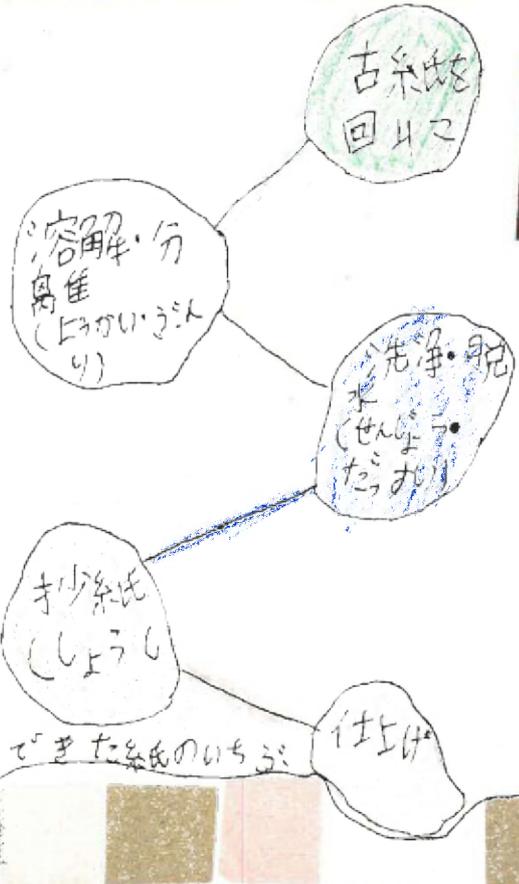
自分でリサイクルできる事を知り、楽しかったです。

今まで以上に、ゴミの分別や正しく出すようにして、

資源を次資源として使えるように協力したいです。

紙がでる工程

牛乳パックからはがきができるまで



水にひたしてビニールをはがす。



ミキサーで紙田かくす。



かたに入れてかざりをつける。

かわかして完成

令和5年8月4日(金) 紙の講座
 女土の小学校 4年生 名前: 加藤裕太
 ぼくは、紙のリサイクルについて学びました。
 そこで一番楽しかったことは、牛乳パックを再利用してはがきを作ることで、水にひたした牛乳パックの両面のビニールをとり、水の入ったミキサーで細かくしてそれをかたに流しこんでかわかして作りました。作った紙は、思ったよりもじょうぶでびっくりしました。
 二番目に楽しかったことは、株式会社エコーペーパーJPRの紙のリサイクル工場を見学したことです。紙のリサイクルには主に4つの工程があり、さいに見ることができました。古紙は大切だしげんたなので、これからはまたリサイクルしていきたいと思っています。